

1 学校教育目標

『すべての生徒が安心して学習できる学校づくり』

- 教師、生徒、保護者、地域が一体となった学校づくり
- 赤穂中学校の「誇りと信頼」の再構築

2 めざす生徒像「校訓」

- 「明けく」・・・ 公明正大で、切磋琢磨して学習に真剣に取り組む生徒
- 「浄く」・・・ 心や行いがきれいで正しく、やましいところがない生徒
- 「直く」・・・ 正しく堂々とした生活をし、素直で誠実な生徒

3 めざす教師像

- I 人権感覚を磨き、感性を高め、人と命を大切にする教師
- II わかる授業と学力向上への工夫と改善に努める教師
- III 生徒の気持ちに寄り添い、支え伸ばす教師
- IV 生徒の主体性と可能性に期待し、信じる教師
- V 挑戦と振り返りにより自分を鍛え、成長する教師

4 基本方針

- (1) 人権尊重の精神に基づき、生徒を大切にする立場で考え、実行し、すべての生徒が安心して学習や集団活動ができる学校環境をつくる。
- (2) 生徒が、学び合い、支え合い、共に成長する多様な教育活動を展開するとともに、日常的な係活動を確実に積み上げることの大切さに気づかせ、自主・自立の精神を培う。
- (3) 生徒理解に基づく生徒指導と、積極的できめ細やかな関わりを通して、生徒一人一人の居場所づくりを進める。また保護者や関係機関との協働・連携による対策行動を実施する。
- (4) 学習習慣の確立と学力向上を図るため、「わかる授業づくり」への工夫と改善に努め、授業公開や研究協議などの確実な積み上げと合わせて、形式にとらわれないメリハリのある授業展開や学習形態などの研究を進める。
- (5) 生徒会を中心とする自主的活動や仲間づくりの活性化と適切な支援により、集団の自浄力を高め、学校の秩序と信頼の定着を図る。
- (6) 福祉・ボランティア活動や地域への貢献活動を展開・充実させるとともに、わかりやすく見やすい紙面による学校情報の発信、地域団体との連携、オープンスクールの拡充、地域人材の活用などを通して、地域に開かれた親しみのある学校、地域に根ざした学校教育を推進する。
- (7) 不登校生徒への多様なアプローチを学び、関係機関の協力を得ながら、生徒や保護者との積極的な関わりと早期対応により、新たな不登校を生み出さない取組を推進する。
- (8) インクルーシブ社会の実現をめざす特別支援教育の充実や社会のグローバル化に伴うコミュニケーション能力の向上を図る英語教育の拡充、さらに道徳教育の教科化などの今日的課題を見据えた取組の推進を図る。